



▲地域食材を使ったパンを扱うベーカリー「BREADAY」

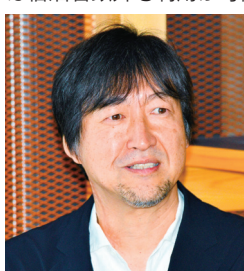
▶開店後すぐに行列ができた昼はベーカリーカフェ、夜はイタリアンバルの「flour+water/DRA7（フラワーアンドウォータードラゼブン）」（1階）



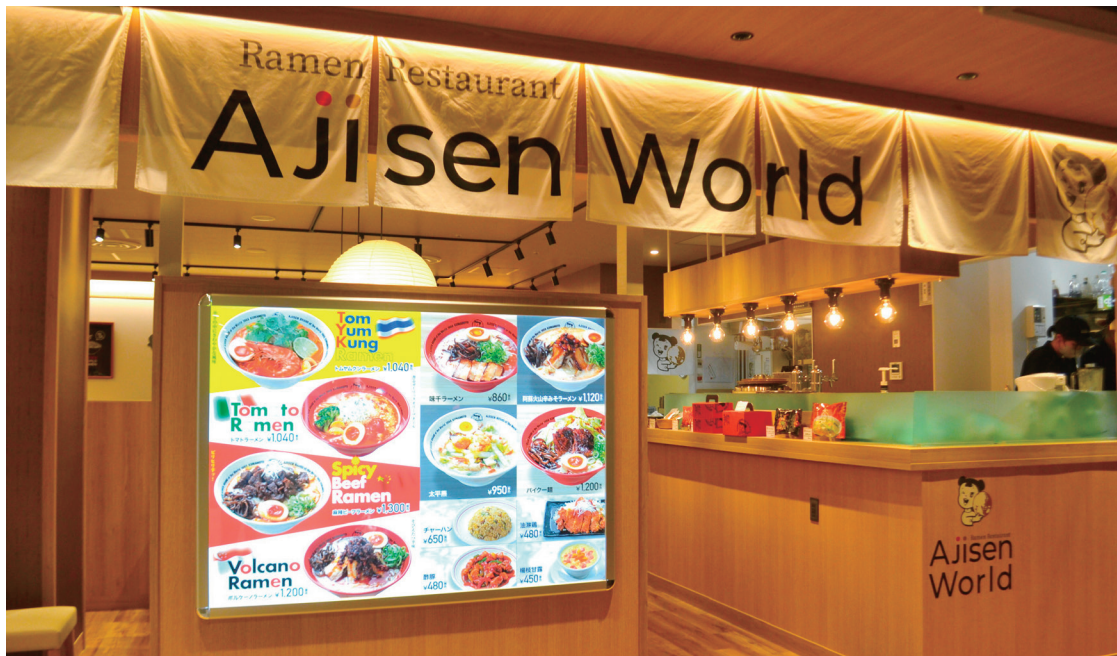
▲大型生活雑貨店「Standard Products（スタンダードプロダクツ）」（地下1階）



▲2階「HAB@」と3階「OMO5熊本」をつなぐエスカレーター。カフェ、テラスを設けた3階の「OMOベース」は宿泊者以外も利用が可能



◀「街に出て過ごすこと」の価値を改めて提案したい」と話すパルコの小林昭夫新規プロジェクト推進部長



▶味千ラーメンをチェーン展開する重光産業㈱が新業態として出店したラーメン店「Aji Sen World（アジセンワールド）」（2階）



▲手取本町の熊本パルコ跡地に完成した11階建てビル。地下1階～地上2階に「HAB@」、3～11階に都市型観光ホテル「OMO5熊本」が入る

商業施設 「HAB@」、都市型観光ホテル 「OMO5熊本」開業 熊本パルコ跡地に新たなにぎわい創出へ



▲10時の開店前には約300人が列を作った

「ト」を4月25日に開業した。24日に現地で開催した内覧会でパルコの小林昭夫新規プロジェクト推進部長は、「主なターゲット層を10〜20代としていた熊本PARCOに比べ、HAB@はファッションのテナント比率を下げ、食を中心に地域の魅力を発信するテナント構成にすることで、ターゲット層を広げた。33年間、熊本PARCOとして親しんでもらったこの場所で、「HAB@」のネーミングコンセプトである、新たに暮らしたのハブポイント（「HUB」として、幅広い世代のニーズに応える独自の魅力を持った「HAB@」場所を目指したい」と抱負を述べた。

食中心に20店舗出店

HAB@の店舗面積は3425㎡。全20店舗が入居し、うち14店舗が県内初出店。1階はファッションや雑貨、食品など8店舗、2階は地域食材を使ったパンを扱うベーカリー「BREADAY（ブレッデイ）」など飲食店が中心に県内初出店の8店舗が入る。地下1階は雑貨、サービスなどのショップ4店舗が入居する。

三陽㈱（熊本市中央区九品寺3丁目、木下修社長）が同区手取本町の熊本パルコ跡地に建設した11階建てビル「Shinsekai」下通「GATE」の地下1階と地上2階に㈱パルコ（東京都渋谷区、川瀬賢二社長）が商業施設「HAB@（ハブアット）熊本」を、3〜11階に国内外で67の温泉旅館やリゾートホテルを運営する星野リゾート（長野県軽井沢町、星野佳路代表）が都市型観光ホテル「OMO5（おもふあいご）熊本 by 星野リゾート」